

## 日本産アリ類生態情報 4. 社会寄生性種, 奴隷制種, 盗食共生種.

寺山他(2014)の一覧表を改変.

寄生者	寄主
<b>奴隷狩り (dulosis; slavery)</b>	
サムライアリ <i>Polyergus samurai</i>	クロヤマアリ, ハヤシクロヤマアリ
イバリアリ <i>Strongylognathus koreanus</i>	トビイロシワアリ
アカヤマアリ <i>Formica sanguinea</i>	随意的に奴隷狩りを行う. 一時的社会寄生種でもある. クロヤマアリ, ヤマクロヤマアリ, ハヤシクロヤマアリ, ツヤクロヤマアリ
ヤドリムネボソアリ <i>Temnothorax bicara</i>	女王のほか, 働きアリが見られる. 飼育条件下で奴隷狩りが確認 されている(木野村, 私信). ハリナガムネボソアリ
<b>一時的社会寄生 (temporary social parasitism during colony foundation)</b>	
オモビロクシケアリ <i>Myrmica luteora</i>	ツヤクシケアリ, エゾクシケアリ (?)
ヌカウロコアリ <i>Strumigenys mutica</i>	ウロコアリ, キタウロコアリ
アカヤマアリ <i>Formica sanguinea</i>	クロヤマアリ, ヤマクロヤマアリ等の初期コロニー. 随意的に奴 隷狩りも行なう.
ツノアカヤマアリ <i>Formica fukai</i>	クロヤマアリ, ヤマクロヤマアリ
エゾアカヤマアリ <i>Formica yessensis</i>	おそらくヤマアリ属の種に一時的社会寄生.
アメイロケアリ <i>Lasius umbratus</i>	トビイロケアリ, ハヤシケアリ
ヒゲナガアメイロケアリ <i>Lasius meridionalis</i>	トビイロケアリ, ハヤシケアリ
ミヤマアメイロケアリ <i>Lasius hikosanus</i>	おそらくケアリ属の種に一時的社会寄生.
フシボソクサアリ <i>Lasius nipponensis</i>	ヒゲナガケアリ
クロクサアリ隠蔽種群 <i>Lasius</i> spp.	アメイロケアリ, ヒゲナガアメイロケアリ
ヒラアシクサアリ <i>Lasius spathepus</i>	トビイロケアリ
テラニシクサアリ <i>Lasius orientalis</i>	キイロケアリ
モリシタクサアリ <i>Lasius capitatus</i>	おそらくケアリ属の種に一時的社会寄生.
トゲアリ <i>Polyrhachis lamellidens</i>	クロオオアリ, ムネアカオオアリ, ミカドオオアリ

### 恒久的社会寄生 (inquilinitism; permanent social parasitism)

キノムラヤドリムネボソアリ *Temnothorax kinomurai* 働きアリが存在せず，女王と職蟻型女王のみが見られる。

ハヤシムネボソアリ

ヤドリウメマツアリ *Vollenhovia nipponica* 働きアリが存在せず，女王のみが見られる。ヒメウメマツアリ

の巣に恒久的社会寄生する。

### 盗食共生 (lestobiosis)

ノコバウロコアリ *Strumigenys incerta*

トゲズネハリアリの巣に盗食共生する可能性がある。

トフシアリ *Solenopsis japonica*

多くの土中営巣性種。欧州の *Solenopsis fugax* は‘盗みアリ’  
として有名であるが，日本産の本種は土中の昆虫類を好んで襲  
い餌とする捕食者でもある。

---

### 出典

寺山 守・久保田敏・江口克之 (2014) 日本産アリ類図鑑。朝倉書店，278 pp.

### 参考 1 :

山梨県甲斐市釜無川河川敷でのイバリアリ (寄主：トビイロシワアリ) の寄生率 0.89 %

島本晋也・小松 貴・藩 宇 (2006) イバリアリ *Strongylognathus koreanus* の再発見。蟻, 28: 81.

岐阜県金華山でのヤドリムネボソアリ (寄主：ハリナガムネボソアリ) の寄生率 0.29 %

木野村(私信)

### 参考 2 :

アミメアリのコロニー内にはやや大型で単眼をもつ個体が見られ，これは利己的な遺伝子突然変異個体で，一種の社会寄生者であることが判明している。巣集団とは遺伝的に異なる系統となり，これを独立種とみなす見解も有り得るが，ここではこれを独立種とはみなさない。

### 出典 :

長谷川英祐・辻 和希・佐々木智基 (2002) アミメアリの利己的な大型個体は遺伝的な変異体か? 蟻, 26: 51-52.

Dobata, S., T. Sasaki, H. Mori, E. Hasegawa, M. Shimada & K. Tuji (2009) Cheater genotypes in the parthenogenetic ant *Pristomyrmex punctatus*. Proc. Biol. Sci., 276: 567-574.

土畑重人 (2009) アリの社会構造に関する最近の知見：遺伝的カースト決定と特異な遺伝構造. 昆虫と自然, 44(4): 24-29.